

太宰府中学校3学年だより

No.15

R4.11.18

文責:3学年主任

令和4年最後の月・12月になります。12月

～決定した進路の実現に向けて「温かい雰囲気」をつくる月です～

朝晩と日中の寒暖差がより大きくなり、冬の訪れを肌身を感じる季節になりました。気がつけばもう令和4年最後の月になります。中学校生活もあと4ヶ月になりますね。

この時期だからこそ、冬の寒さに負けないような「温かい」学級をつくっていきましょう。

学校は集団で生活する「学びの場」です。みんなでやらなければならないこと・みんなで助け合うこと・みんなが喜ぶことは何かを知り、それを行動し、身につける「学びあいの場」です。

「学びあい」とは具体的にどういうことか。改めて具体的な例を4つほどあげましょう。

- 授業中の雰囲気やチャイム席・忘れ物がないかお互いに「注意しあう」
- 休んでいる人が近くにいればプリントなどを机の中に入れて「整理しあう」
- 難しい問題が解けずに悩んでいれば「教えあう」
- そうじ・係などの係の仕事をみんなで「助け合う」……



3年のこの時期になると、上に書かれてあることがさらに大切になってきます。進路は決定したが果たして受かるだろうか……これから必死で頑張っても点数が上がるだろうか…今の状態で高校生活はやっていけるだろうか……人それぞれが悩み、その数と量は果てしなくつきないものです。

その時に、悩みやきつさを乗り越えていけるのは「周りの仲間の力」です。同じきつさ・悩みをわかちあうことで、きつさや悩みは半分に減ります。

「自分だけがきつい」思いが「きついのは自分だけじゃない」と変われば、希望する進路先により近づくことができます。

実際、これまで受け持っていた生徒たちは、お互いに問題集を交換しあうなど教えあって勉強し、凹んでいるときは「大丈夫だよ」など声を掛け合って、皆で一緒に頑張ってきました。

あなたのクラスにも、雰囲気を良く盛り上げてくれる「ムードメーカー」がいるでしょう。わからないときにいつも教えてくれたり、注意してくれる「ミニ先生」がいるでしょう。

きっとそれは、日頃からクラスが「助け合える」雰囲気ができているからです。

進路決定から実現に向かうこれからの時期は、ぜひこの様な温かい雰囲気づくりを大事にして欲しいと思っています。終業集会まであと1ヶ月あまり、お互いに温かく穏やかに過ごしたいですね。

保護者の皆様

11月28日から生徒・保護者・学級担任の3名による進路相談が行われます。

保護者の皆様にはご多用な中、日程等にご協力いただき誠にありがとうございました。

進路相談の際には「私立高校確定書」を配付して、その場で記入して頂き、さらに、別室で私立高校の願書を書いて頂いております。願書によっては印鑑が必要です。忘れずにご持参下さい。

また、受験料の振り込みは12月9日(金)までに金融機関に振り込みいただき、再度、中学校へ願書を提出してください。(お子様に持たせてかまいません)

進路に関する重要な手続きは、期日が厳しく決められています。お子様とよくご確認の上、確実に手続きをされるよう、お願いいたします。